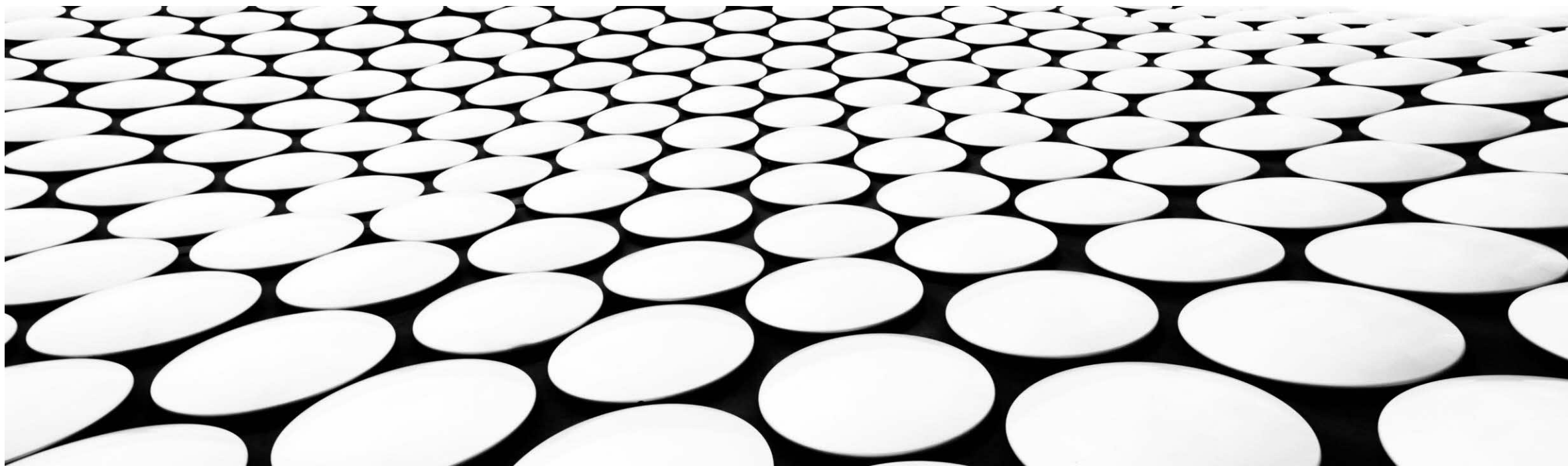

超高齢化社会における歯科の役割



自己紹介



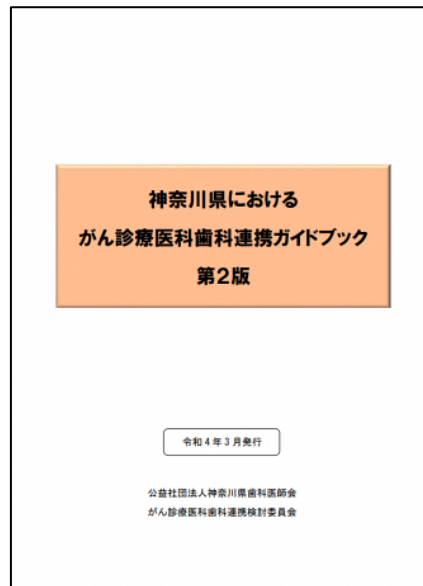
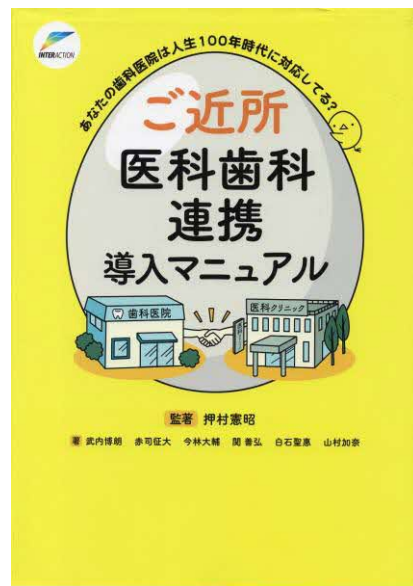
田中裕三

医療法人社団ウェルビーイング 裕デンタルクリニック院長

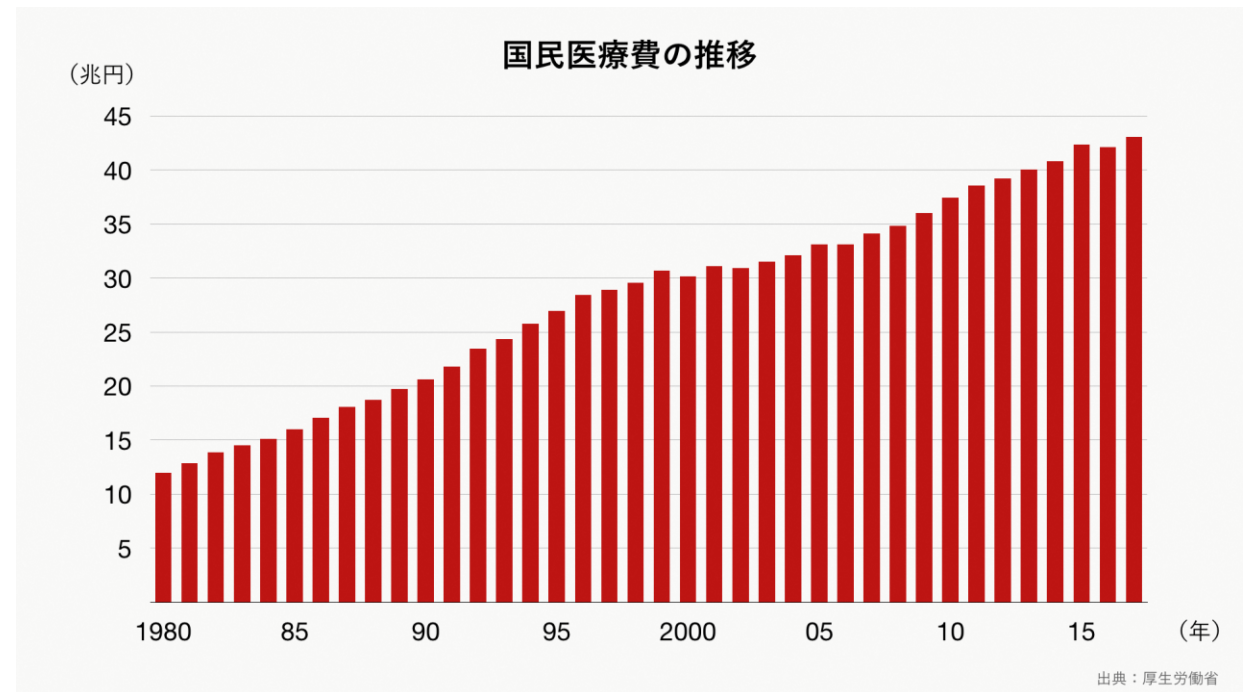
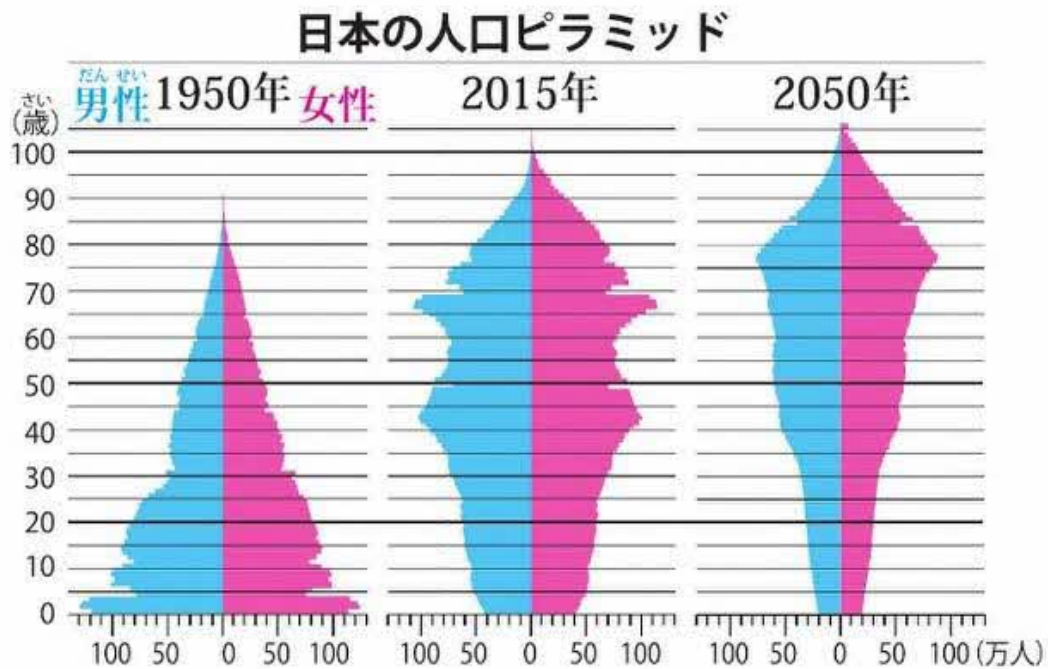
**神奈川県歯科医師会常任理事
スペシャルニーズ診療事業部 訪問診療・医科歯科連携事業**

**大和綾瀬歯科医師会理事
地域医療委員会 在宅歯科医療地域連携室 要介護高齢者歯科**

参考文献



人口分布と医療費



人類史上類をみない超高齢化社会を迎える日本が、どのような対策を打ち、どのように切り抜けていくのか世界が固唾を飲んで見守っている。

経済財政運営と改革の基本方針2023（骨太の方針2023）

リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理の連携・推進を図る。

全身の健康と口腔の健康に関する科学的根拠の集積・活用と国民への適切な情報提供、生涯を通じた歯科健診（いわゆる国民皆歯科健診）に向けた取組の推進、オーラルフレイル対策・疾病の重症化予防につながる歯科専門職による口腔健康管理の充実、歯科医療機関・医科歯科連携を始めとする関係職種間・関係機関間の連携、歯科衛生士・歯科技工士等の人材確保の必要性を踏まえた対応、歯科技工を含む歯科領域におけるICTの活用を推進し、歯科保健医療提供体制の構築と強化に取り組む。また、市場価格に左右されない歯科用材料の導入を推進する。

超高齢化社会において歯科が果たせる役割

介護予防

口腔機能低下症
(オーラルフレイル)

歯周病細菌感染症

歯の喪失
(咀嚼機能低下)

医科歯科薬科連携

糖尿病

周術期連携

認知症

骨粗鬆症

介護

訪問診療

摂食嚥下機能療法

ミールラウンド

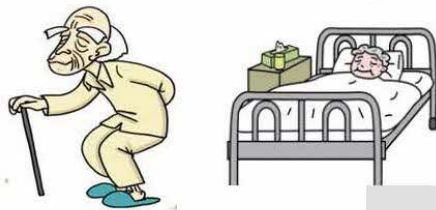
歯科在宅診療地域連携室

要介護高齢者歯科

介護予防①

口腔機能低下症（オーラルフレイル）

『虚弱』
のことを、
今は
『フレイル』
(Frailty)
と言います



朝日新聞 2014年5月8日 朝刊 6ページ 東京本社

高齢で筋力・活力衰え 「フレイル」と命名

予防意識高めるため

日本老年医学会が提唱

日本老年医学会は、高齢になつて筋力や活力が衰え、多くはこの段階を経て要介護状態になるにつれて筋力が衰える現象は「サルコペニア」と呼ばれ、さらに生活機能が全般的に低くなると「フレイル」となる。

米国立長寿医療研究センターの調査によると、愛知県大府市に住む65歳以上の高齢者約5千人（脳卒中などの持病がある人を除く）のうち11%が該当したという。

たんぱく質を含んだ食事や定期的な運動によつて、この段階になるのを防いだり、遅らせることができる。提言を作成した荒井秀典・京都大教授は「適切に対応すれば、心身のよい状態を長く保つことができるといふ考えを浸透させた」と話す。（土肥修）

米国立長寿医療研究センターの調査によると、愛知県大府市に住む65歳以上の高齢者約5千人（脳卒中などの持病がある人を除く）のうち11%が該当したという。

たんぱく質を含んだ食事や定期的な運動によつて、この段階になるのを防いだり、遅らせることができる。提言を作成した荒井秀典・京都大教授は「適切に対応すれば、心身のよい状態を長く保つことができるといふ考えを浸透させた」と話す。（土肥修）

すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

フレイルの要件
このうち三つ以上該当する

- 1年間で4~5%の体重減少
- 疲れやすくなった
- 筋力(握力)の低下
- 歩行スピードの低下
- 身体活動性の低下

米国老年医学会の評価法から

フレイルの予防法

- たんぱく質、ビタミン、ミネラルを含む食事
- ストレッチ、ウォーキングなどを定期的に
- 身体活動量や認知機能を定期的にチェック
- 感染症予防(ワクチン接種を含む)
- 手術後は栄養やリハビリなどケアを受ける
- 内服薬が多い人(6種類以上)は主治医と相談

(荒井秀典・京都大教授による)

2014年5月8日 朝日新聞



「フレイル健診」で使う質問票

- 現在の健康状態はどうか
- 毎日の生活に満足しているか
- 1日3食きちんと食べているか**
- 半年前に比べて硬いものが食べにくくなったか**
- お茶や汁物などでむせることがあるか**
- 半年間で2~3キロ以上の体重減少があったか
- 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うか
- この1年間で転んだことがあるか
- ウォーキングなどの運動を週1回以上しているか
- 周りの人からもの忘れがあると言われるか
- 今日が何月何日か分からない時があるか
- たばこを吸うか
- 週1回以上は外出しているか
- 普段から家族や友人との付き合いがあるか
- 体調が悪いときに身近に相談できる人がいるか

厚生労働省の資料をもとに作成

2019年10月29日 読売新聞

オーラルフレイル対策が重要な理由




1. **咀嚼力** (噛む力)
2. **嚥下力** (飲み込む力)
3. **滑舌**

オーラルフレイルはフレイルの初期段階に発現するため、オーラルフレイルをチェックアップすることは、全身的なフレイルの早期発見・早期対応につながる。

口腔機能低下症の検査

EAT-10(イート・テン)

嚥下スクリーニングツール



氏名: _____ 性別: _____ 年齢: _____ 日付: _____ 年 _____ 月 _____ 日

目的

EAT-10は、嚥下の機能を測るためのものです。
気になる症状や治療についてはかかりつけ医にご相談ください。

A. 指示

各質問で、あてはまる点数を四角の中に記入してください。
問以下の問題について、あなたはどの程度経験されていますか？

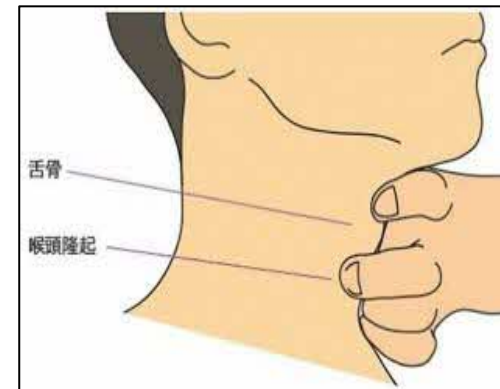
<p>質問1: 飲み込みの問題が原因で、体重が減少した</p> <p>0=問題なし <input type="checkbox"/></p> <p>1 <input type="checkbox"/></p> <p>2 <input type="checkbox"/></p> <p>3 <input type="checkbox"/></p> <p>4=ひどく問題 <input type="checkbox"/></p>	<p>質問6: 飲み込むことが苦痛だ</p> <p>0=問題なし <input type="checkbox"/></p> <p>1 <input type="checkbox"/></p> <p>2 <input type="checkbox"/></p> <p>3 <input type="checkbox"/></p> <p>4=ひどく問題 <input type="checkbox"/></p>
<p>質問2: 飲み込みの問題が外食に行くための障壁になっている</p> <p>0=問題なし <input type="checkbox"/></p> <p>1 <input type="checkbox"/></p> <p>2 <input type="checkbox"/></p> <p>3 <input type="checkbox"/></p> <p>4=ひどく問題 <input type="checkbox"/></p>	<p>質問7: 食べる喜びが飲み込みによって影響を受けている</p> <p>0=問題なし <input type="checkbox"/></p> <p>1 <input type="checkbox"/></p> <p>2 <input type="checkbox"/></p> <p>3 <input type="checkbox"/></p> <p>4=ひどく問題 <input type="checkbox"/></p>
<p>質問3: 液体を飲み込む時に、余分な努力が必要だ</p> <p>0=問題なし <input type="checkbox"/></p> <p>1 <input type="checkbox"/></p> <p>2 <input type="checkbox"/></p> <p>3 <input type="checkbox"/></p> <p>4=ひどく問題 <input type="checkbox"/></p>	<p>質問8: 飲み込む時に食べ物がどに引っかかる</p> <p>0=問題なし <input type="checkbox"/></p> <p>1 <input type="checkbox"/></p> <p>2 <input type="checkbox"/></p> <p>3 <input type="checkbox"/></p> <p>4=ひどく問題 <input type="checkbox"/></p>
<p>質問4: 固形物を飲み込む時に、余分な努力が必要だ</p> <p>0=問題なし <input type="checkbox"/></p> <p>1 <input type="checkbox"/></p> <p>2 <input type="checkbox"/></p> <p>3 <input type="checkbox"/></p> <p>4=ひどく問題 <input type="checkbox"/></p>	<p>質問9: 食べる時に咳が出る</p> <p>0=問題なし <input type="checkbox"/></p> <p>1 <input type="checkbox"/></p> <p>2 <input type="checkbox"/></p> <p>3 <input type="checkbox"/></p> <p>4=ひどく問題 <input type="checkbox"/></p>
<p>質問5: 錠剤を飲み込む時に、余分な努力が必要だ</p> <p>0=問題なし <input type="checkbox"/></p> <p>1 <input type="checkbox"/></p> <p>2 <input type="checkbox"/></p> <p>3 <input type="checkbox"/></p> <p>4=ひどく問題 <input type="checkbox"/></p>	<p>質問10: 飲み込むことはストレスが多い</p> <p>0=問題なし <input type="checkbox"/></p> <p>1 <input type="checkbox"/></p> <p>2 <input type="checkbox"/></p> <p>3 <input type="checkbox"/></p> <p>4=ひどく問題 <input type="checkbox"/></p>

B. 採点

上記の点数を足して、合計点数を四角の中に記入してください。 合計点数(最大40点)

C. 次にすべきこと





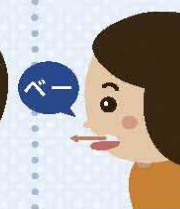
EAT-10の合計点数が3点以上の場合、嚥下の効率や安全性について専門医に相談することをお勧めします。



口腔機能低下症（オーラルフレイル） 予防

グー・パー・ぐるぐる・ごっくん・ベー

顔面体操や舌体操などを短くミックスしたお口の体操で、短時間でバランスよく簡単に覚えられるのが特徴です。

1	2	3	4	5
				
グー	パー	ぐるぐる	ごっくん	ベー
目はしっかり閉じ 目玉は下方に。 口は口角を上げ しっかり閉じる。	目は大きく開き 目玉は上方に。 口を大きく開く。	口を閉じたまま 舌に力を入れ、 口唇の内側を 舐めるように回す。 (右回り、左回り)	ココで溜まった唾 をごっくん!	舌の先に力を入れ しっかりと前に出 す。(そのまま10秒 キープ)

1~5を3回以上、毎日繰り返し続けることで

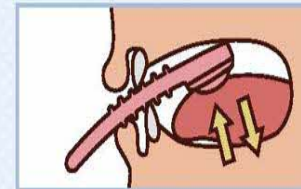
- ① 脳の血流UPで頭スッキリ!
- ② 唾液分泌UPでお口もうるおう!
- ③ 舌の力で飲み込む力も向上!
- ④ フェイスラインもスッキリ!

訓練の方法

1 ペコばんだのトレーニング部を舌の上に
乗せて位置決め部を歯でくわえます。



2 舌でトレーニング部を押し上げます。
6回舌で押しつぶし、1日3回行う。



介護予防② 歯周病菌感染症



歯科疾患と生活習慣病（≒NCDs）の関連についての科学的根拠（エビデンス）の質が最も高いアンブレラレビューが昨年末に発表。

28種類のNCDsに歯科疾患が強く関連

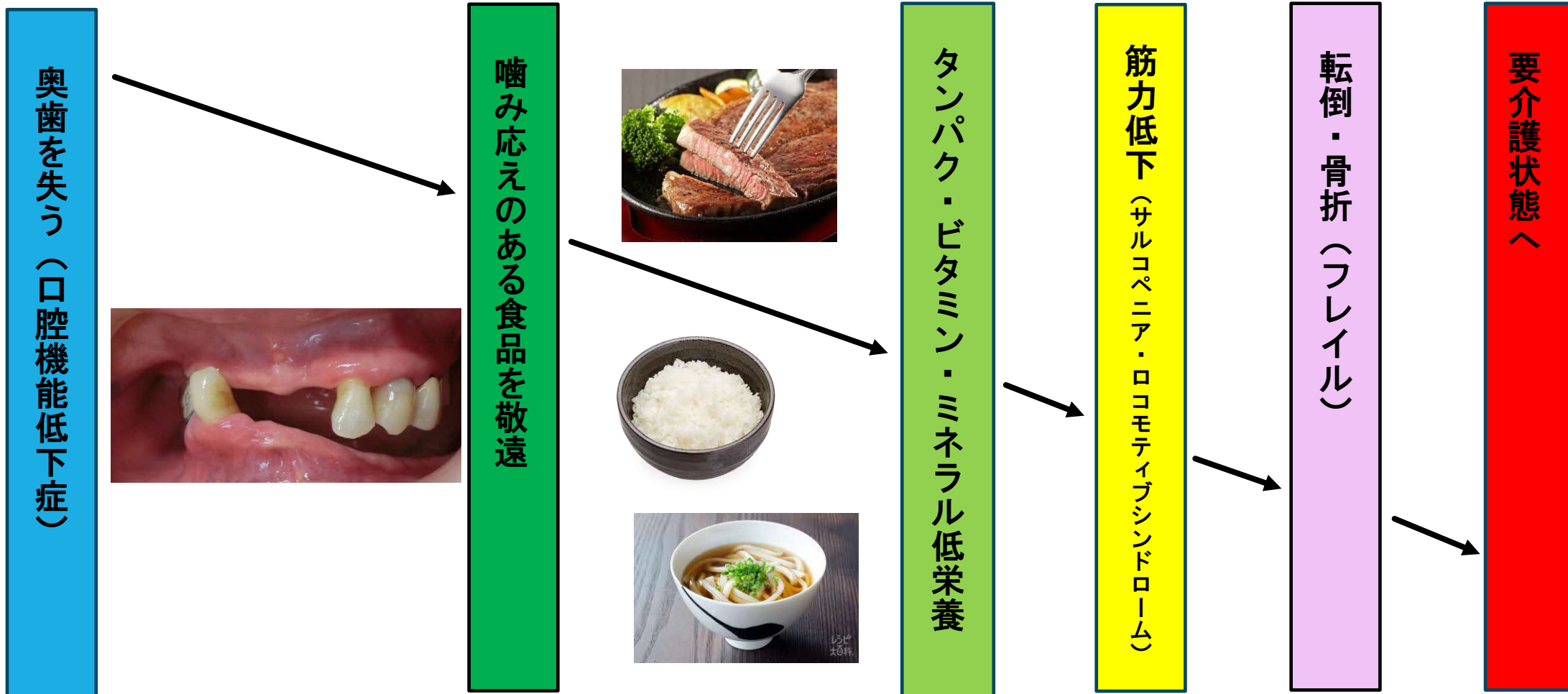
Botelho J et al.
An umbrella review of the evidence linking oral health and systemic noncommunicable diseases.
[Nature Commun.](#) 2022;13(1):761.

動画（あなたは歯周ポケットの中を見たことがありますか？）

大阪大学 教授 天野敦雄先生

介護予防③

歯の喪失（咀嚼機能低下）から始まる老化ドミノ



歯の喪失 咬合力

咀嚼機能値（グルコセンサー）

正常値 200mg/dl

奥歯の喪失 150mg/dl

噛みづらい 120mg/dl

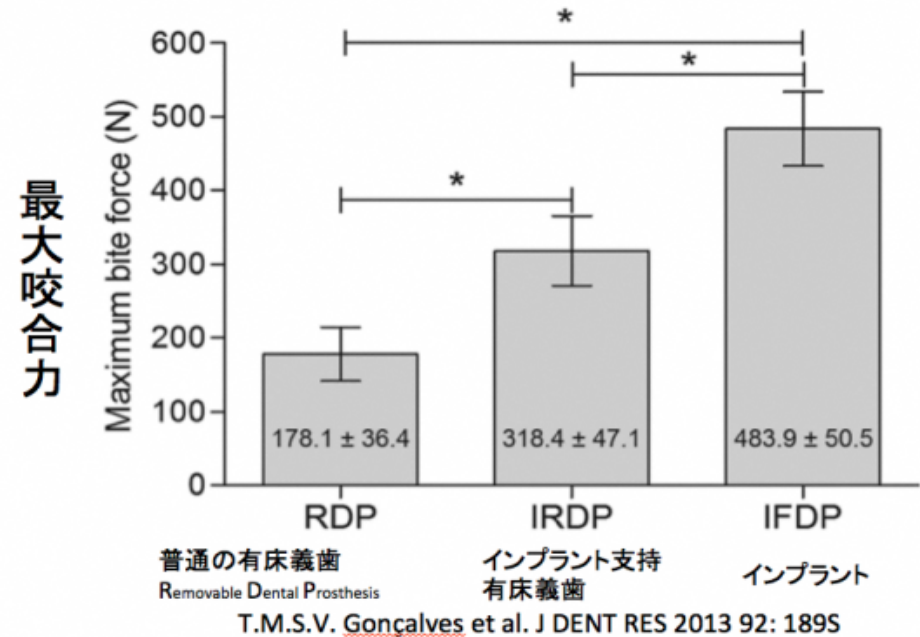


図 15 最新の補綴治療で噛む力が回復する

歯数・義歯と転倒の関係

<方法>

2003年に愛知県に居住する65歳以上の健常者を対象としてアンケート調査を行った。そして、最初の調査時点で過去1年間に転倒の経験がない者のうち、3年間追跡できた1763名の3年後における過去1年間の転倒経験と、歯数および義歯使用の有無との関係を検討した。

<結果>

20歯以上の人に対して19歯以下で義歯未使用の人の転倒リスクは2.50倍であった(図)。なお、19歯以下で義歯を使用している人の転倒リスクは1.36倍であり、20歯以上の人との間に明らかな(統計学的に有意な)違いは見られなかった。

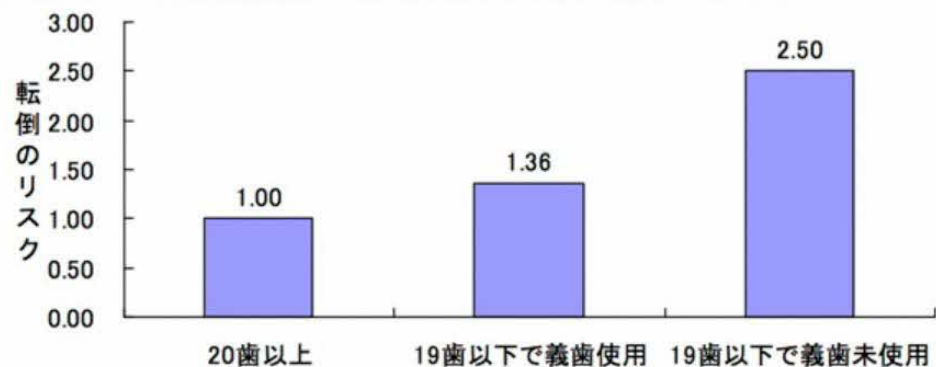


図 歯数・義歯と転倒との関係

(性、年齢、追跡期間中の要介護認定の有無、うつ、主観的健康観、教育歴を調整済み)



医科歯科薬科連携 歯科の特異性

歯科では「定期検診（メンテナンス）」が一般的に認知されつつあり、治療が終わっても患者さんが定期的に来院する仕組みができあがっている。

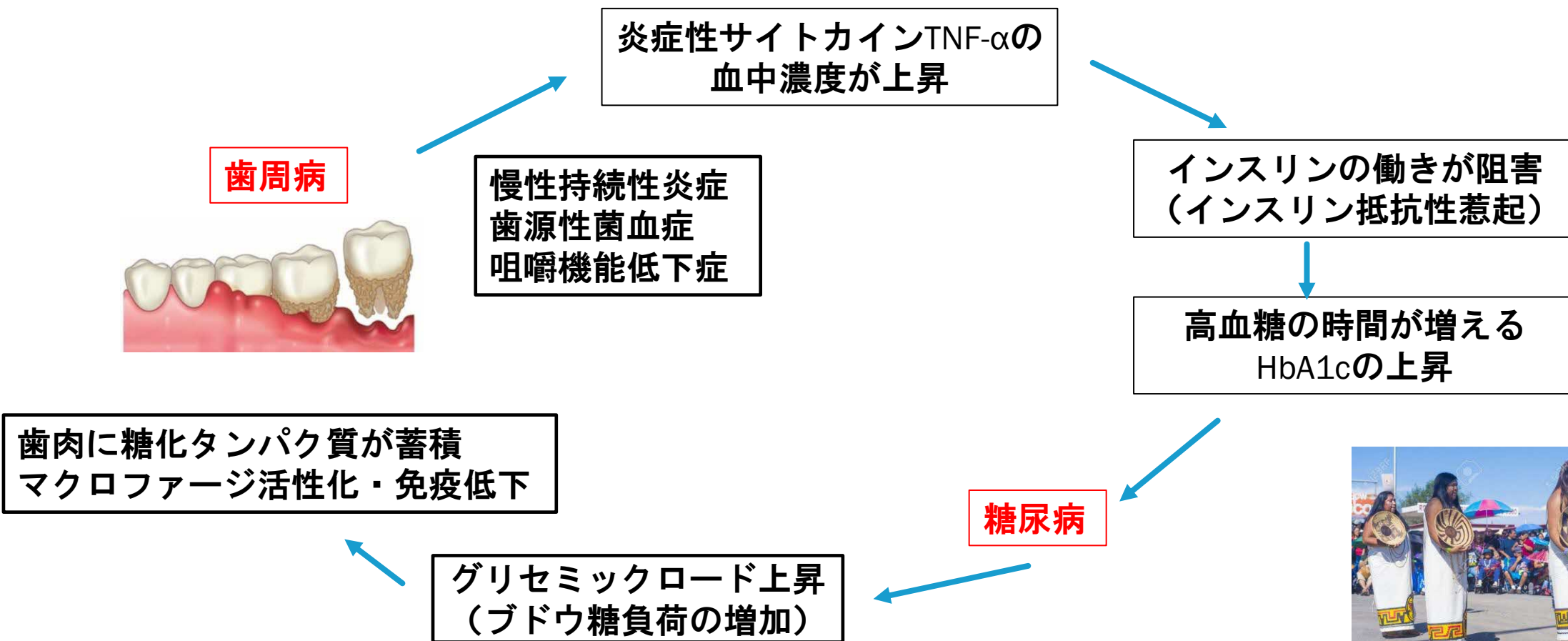
歯科はすべての世代が継続的に通院してくる医療機関である。

歯科医療関係者は、疾患を発病する前の人に出会える医療従事者である。

歯科の「連続性」という特徴を生かし、医科歯科薬科連携を推進することにより
発症予備軍の患者さんをピックアップできる

医科歯科薬科連携①

糖尿病（歯周病との負の連鎖）



歯周病セルフチェック

思い当たる症状をチェックしましょう

- 歯ぐきに赤く腫れた部分がある。
- 口臭がなんとなく気になる。
- 歯ぐきがやせて、歯が長くなったような気がする。
- 歯と歯の間に、ものがつまやすい。
- 歯をみがいたあと、歯ブラシに血がついたり、すすいだ水に血が混じることがある。
- 歯と歯の間の歯ぐきが、鋭角な三角形ではなく、うっ血してプロヨヨしている。
- ときどき、歯が浮いたような感じがする。
- 指でさわってみて、グラつく歯がある。
- 歯ぐきから膿うみが出たことがある。

チェックがない場合

これからきちんと歯みがきを心がけ、少なくとも1年に1回は歯科健診を受けましょう。

チェックが1~2個の場合

歯周病の可能性がります。まず歯みがきのしがたを見直しましょう。念のためかかりつけの歯科医院で、歯みがきがきちんとできているか、歯周病でないかどうか、確認してもらったほうがよいでしょう。

チェックが3~5個以上の場合

初期あるいは中等度歯周炎以上に歯周病が進行しているおそれがあります。早めに歯科医師に相談しましょう。

自分の状況を正しく把握するために、かかりつけ歯科医、かかりつけ医に相談しましょう。

歯周病の症状



歯周病の進行過程



軽度

歯ぐきの腫れ出血
歯と歯ぐきの境目にプラークが溜まり、歯ぐきが炎症を起こして赤く腫れます。ブラッシングの際に出血することがあります。

中等度

歯ぐきが退縮・スキ間も目立つ
炎症がさらに進み、歯周ポケットもより深くなっていきます。顎の骨が半分くらい溶かされてしまい、歯がグラつくことがあります。出血だけでなく、膿が出ることもあります。

重度

歯ぐきから膿が出る
歯を支える顎の骨がほとんど溶かされ、歯が激しくグラつくようになります。食事も痛みを伴うため食べにくくなります。

歯周病と糖尿病

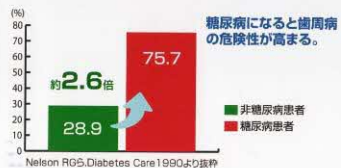
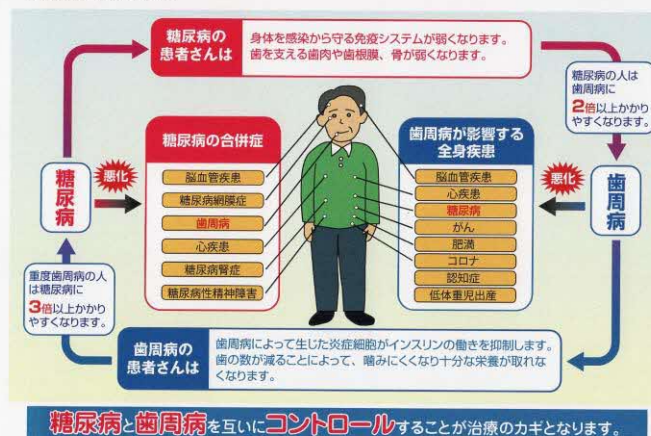
互いに関連して悪影響をおよぼします



発行元 (一社) 茅ヶ崎歯科医師会

歯周病と糖尿病

歯周病は、虚血性心疾患、肥満、などの生活習慣病と関連しています。なかでも糖尿病との間には双方向の関連性があると言われていてます。それぞれの病気によって、全身にまで悪影響を及ぼします。



その他の生活習慣病と歯周病の関連例

- ・歯周病→心疾患の危険性 約2.5倍
- ・歯周病→脳梗塞の危険性 約2.8倍
- ・肥満→歯周病の危険性 約1.5倍

歯周病治療は糖尿病の第4の治療法になりえるか?!

糖尿病の治療は通常、運動療法、食事療法、薬物療法が代表的なものです。しかし最近の研究結果から、歯周病治療が有効な治療方法という報告がされています。

歯周病の治療で糖尿病(HbA1c)が改善



歯周病治療を3か月間継続することにより、ここまでのHbA1cの改善が認められました。

歯周病の治療で糖尿病(HbA1c)が改善



コクランレビュー2022: 糖尿病をもつ人の血糖コントロールのための歯周炎の治療

医科歯科薬科連携② 周術期連携（口腔機能管理）

創部感染の防止

術後感染の防止

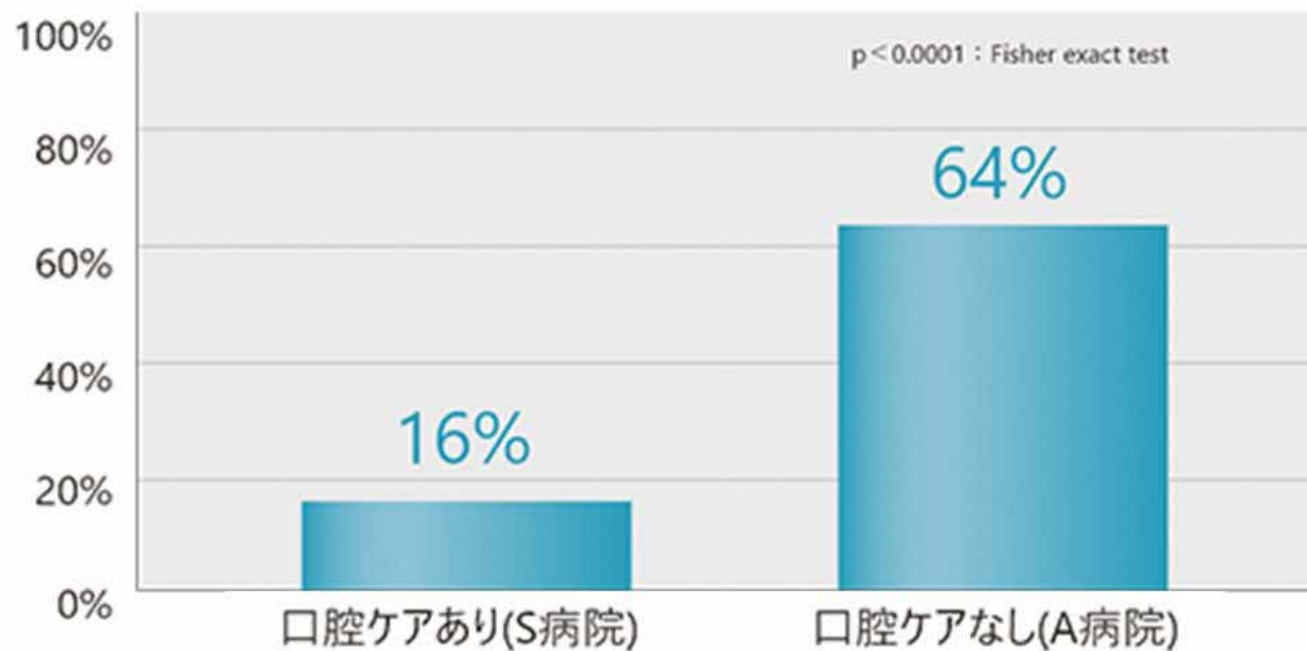
移植・人工物留置後の感染防止

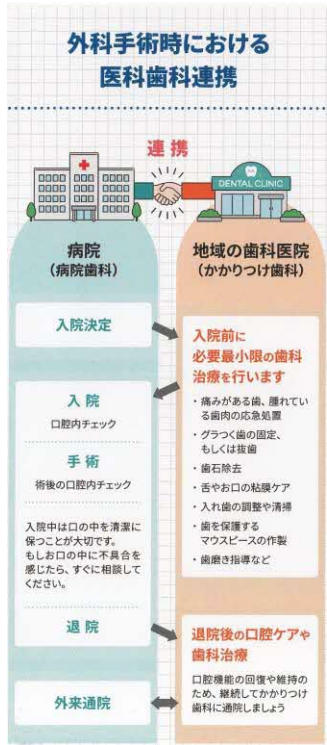
口腔内合併症の防止

術後早期経口摂取

気管挿管時のトラブル防止

図1 術後合併症率（単変量解析）





全身麻酔による外科手術やがん薬物療法・放射線療法を受ける患者さんへのお願い

手術・入院が決まったら

- 出来るだけ早く歯科医院に電話をし、予約をしましょう。お口の状態によっては、治療に回数がかかる場合があります。
- 予約の際、必ず伝えてほしいこと
 - 入院して手術をすること
 - 入院する病院名
 - 入院予定日
- 病院からの診療情報提供書をお持ちください。

がん薬物療法、放射線療法、骨吸収抑制薬の使用が決まりましたら歯科医師に以下の項目をお伝えください。

- 治療の開始時期
- 治療の間隔
- 病院からの診療情報提供書をお持ちください。

安心・安全のために
かかりつけ歯科医を持ちましょう

公益社団法人 神奈川県歯科医師会
<https://www.dent-kng.or.jp/>

一生で2人に1人は
がんにかかると言われています

がん治療とお口の 知られざる関係

周期期口腔機能管理
がん治療中の思わぬトラブルを予防するために手術や薬物療法、放射線療法の前後に歯科治療やお口のケアを行うことが重要です。

がん治療はチーム医療です

お口の問題で発生する、がん治療時のトラブル

全ての治療前に行う専門的口腔清掃と歯石除去は重要です

<h3>全身麻酔による外科手術</h3> <p>口の中が不潔な場合、細菌が全身麻酔の管を伝って身体に入り、肺炎の併発や傷口に感染することがあります。</p> <p>全身麻酔の管を入れる時にグラついていた歯が抜けたり、詰め物・被せ物が外れる可能性があります。</p>	<h3>予防するには？</h3> <p>口の中の細菌を減らす。</p> <p>グラついている歯を固定したり、手術用のマウスピースを作ります。</p>
<h3>がん薬物療法</h3> <p>薬物療法による副作用として、口の渇き、歯肉炎の悪化、口内炎、味覚異常が引き起こされ、食事が困難になり、栄養が不足することがあります。</p>	<h3>予防するには？</h3> <p>口内炎を悪化させる原因を取り除いたり、痛みを抑える薬を使用することがあります。</p>
<h3>放射線療法</h3> <p>首から上のがんが放射線療法を受けると、薬物療法と同じような副作用が現れます。唾液の減少により、むし歯が多発することがあります。また、治療後抜歯などによりあごの骨が壊死することもあります。</p> <p>金属の被せ物などが、放射線の乱反射を引き起こし被曝を増やす可能性があります。</p>	<h3>予防するには？</h3> <p>必要な歯科治療(抜歯、虫歯治療、入れ歯調整等)をあらかじめ行います。</p> <p>乱反射防止用のマウスピースを作ります。</p>
<h3>骨吸収抑制薬(骨粗しょう症薬)</h3> <p>骨吸収抑制薬は、がんの骨転移の進行の抑制、痛みの緩和に使われることがあります。副作用として、抜歯・慢性的な歯周組織の炎症・入れ歯による傷などが原因で、あごの骨が壊死することがあります。</p>	<h3>予防するには？</h3> <p>必要な歯科治療(抜歯、虫歯治療、入れ歯調整等)をあらかじめ行います。</p>

治療内容については、かかりつけ歯科医にご相談ください

口腔ケアを行う事で入院日数を減少させ、医療費削減が期待できます。

いろいろながん患者さんを対象に、口腔ケアを行ったグループは、行わなかったグループに比べ、入院日数、医療費ともに減少しました。

グループ	入院日数	減少
口腔ケアあり	28.3	約6.5日減少
口腔ケアなし	34.8	

グループ	医療費	減少
口腔ケアあり	231万	約33万円減少
口腔ケアなし	264万	

異なる治療法においても、口腔ケアを積極的に行ったグループは入院日数が減少しました。

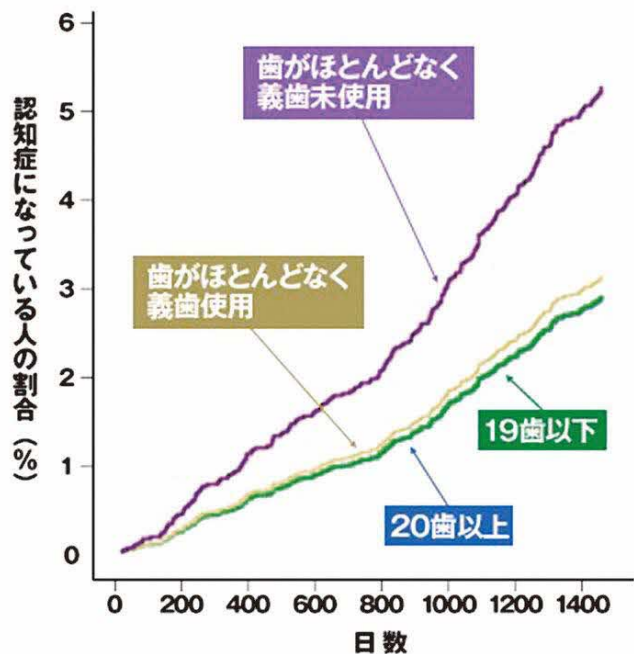
グループ	入院日数	減少
口腔ケアあり	75.2	約8.8日減少
口腔ケアなし	84	

グループ	入院日数	減少
口腔ケアあり	9.6	約9.6日減少
口腔ケアなし	19.2	

グループ	入院日数	減少
口腔ケアあり	29	約9.6日減少
口腔ケアなし	38.6	

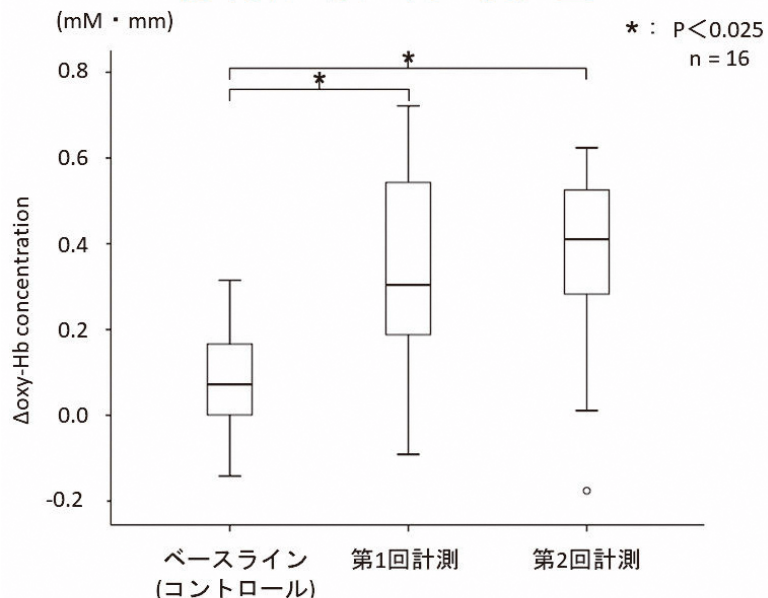
※口腔機能の管理による入院日数・医療費削減効果は、がん患者さんだけでなく、がん以外の患者さんにも見られる傾向があります。

医科歯科薬科連携③ 認知症

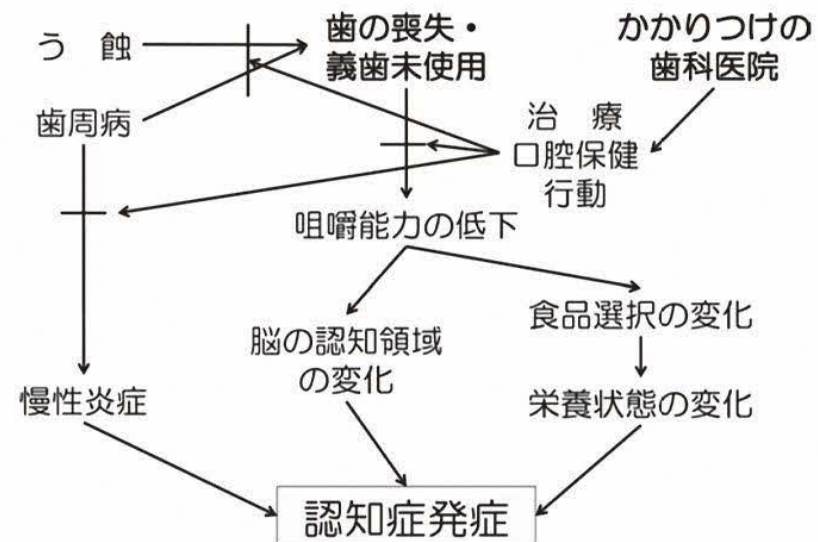


yamamoto et al., Psychosomatic Medicine, 2012

前頭葉の脳血流の変化量



弾性アプライアンスを用いた咀嚼様運動



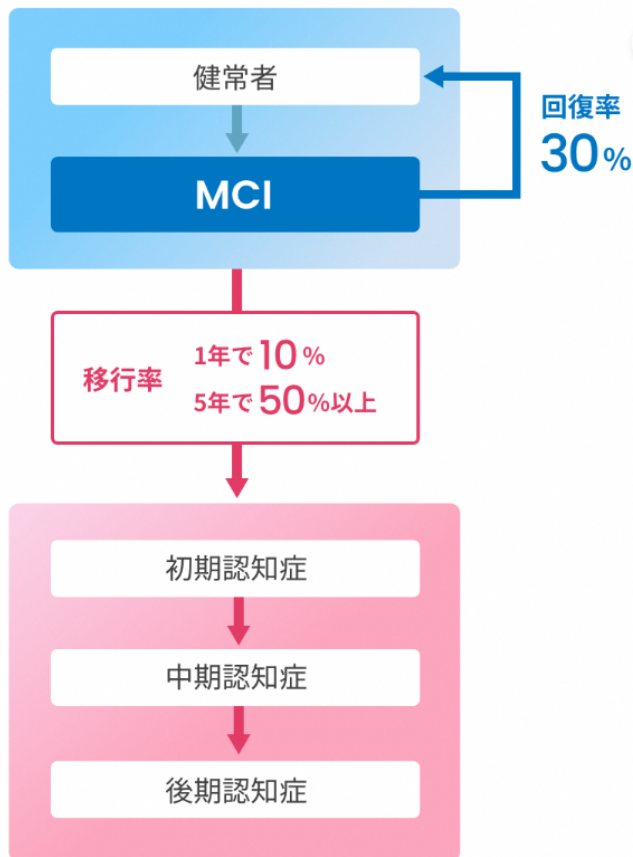
歯周病菌感染は全身の脳老人斑成分を脳内輸入させる

歯周病によるアルツハイマー型認知症関与を解明する新しい発見

2020.07.03

九州大学大学院歯学研究院の武 洲准教授と大学院歯学府博士課程4年生の曾凡（ソ ハン、日本政府奨学金留学生）の研究グループは、中国北京理工大学生命学院の倪軍軍（ニイ ジュンジュン）准教授（元九州大学助教）らとの共同研究により、歯周病原因菌であるジンジバリス菌（Pg菌）を全身に慢性投与することにより、正常な中年マウスの脳外で産生される脳老人斑成分であるアミロイドβ（Aβ）が脳内に取り込まれることを初めて発見しました。

MCI (軽度認知障害)



Japanese Version of The MONTREAL COGNITIVE ASSESSMENT (MOCA-J)

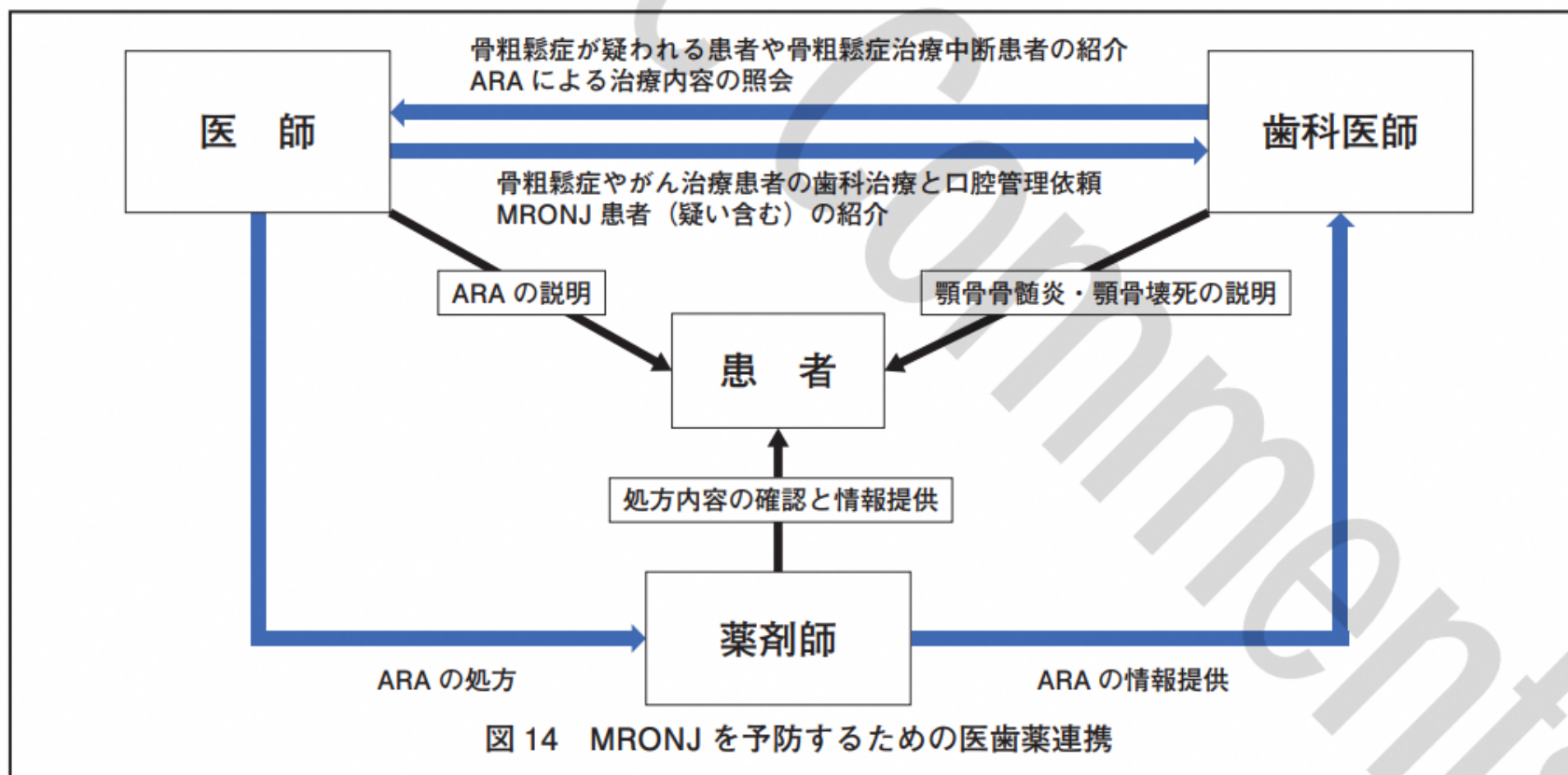
氏名: _____ 生年月日: _____
 教育年数: _____ 性別: _____ 検査実施日: _____

視空間/実行系		時計描画 (11時10分) (3点) 輪廓 数字 針	___/5
命名			___/3
記憶	単語リストを読み上げ、対象者に復唱するよう求める。2試行実施する。5分後に遅延再生を行う。	順 [] 逆 [] 第1試行 [] 第2試行 []	記 点 なし
注意	数唱課題 (数字を1秒につき1つのペースで読み上げる) ひらがなのリストを読み上げる。対象者には“あ”の時に平もしくは机を叩くよう求める。2回以上間違えた場合には得点なし。	順唱 [] 2 1 8 5 4 逆唱 [] 7 4 2	___/2
言語	復唱課題 太郎が今日学校うとしか知りません。犬が毎朝いるときは、猫はいつもイスの下にかくれていました。		___/2
抽象概念	類似課題 例: バナナ-ミカン=果物 [] 電車-自転車 [] ものさし-時計		___/2
遅延再生	自由再生 (手がかりなし) 順 [] 逆 [] 神社 [] 百合 [] 赤 []	自由再生のみ得点の対象	___/5
参考項目	手がかり (カテゴリ) _____ 手がかり (多数選択) _____		
見当識	[] 年 [] 月 [] 日 [] 曜日 [] 市(区・町) [] 場所		___/6

© Z.Nasreddine MD www.mocatest.org 健常 ≥ 28/30 合計得点 ___/30
 MoCA-J作成: 鈴木栄孝 監修: 藤原徳典 version 2.2
 検査実施者 _____
 教育年数 12年以下なら1点追加

医科歯科薬科連携④

骨粗鬆症



薬剤関連顎骨壊死の病態と管理：顎骨壊死検討委員会ポ
ジションペーパー2023

添付文書、医薬品リスク管理計画（RMP）で顎骨壊死について注意喚起されている医薬品

付表 添付文書、医薬品リスク管理計画（RMP）で顎骨壊死について注意喚起されている医薬品

① 骨吸収抑制薬（ARA）

分類	一般名	高用量/ 低用量	主な商品名	使用目的	リスク レベル
ゾレドロン酸水和物		高用量	ゾメタ点滴静注 ゾレドロン酸点滴静注	・多発性骨髄腫による骨病変及び 固形癌骨転移による骨病変 ・悪性腫瘍による高カルシウム血症	●●●●
		低用量	リクラスト点滴静注液	・骨転移	●●
パミドロン酸二ナトリウム		高用量	パミドロン酸二 Na 点滴静注用	・乳癌の溶骨性骨転移 ・骨形成不全 ・悪性腫瘍による高カルシウム血症	●●●
アレンドロン酸		低用量	フォサマック錠 ボナロン（点滴静注・錠・ゼリー）	・骨転移	●●
			アレンドロン酸（点滴静注・錠）		
ビスホスホネート	イバンドロン酸ナトリウム水和物	低用量	ボンビバ（静注・錠）	・骨転移	●●
			ボノクオ錠 リカルボン錠 ミノドロン錠		
リセドロン酸ナトリウム水和物		低用量	アクトネル錠 ベネット錠	・骨転移	●●
			リセドロン酸 Na 錠		
エチドロン酸二ナトリウム		低用量	ダイドロネール錠	・骨転移 ・骨髄腫療法、股関節形成術後における初期及び新発期の異所性骨化の抑制 ・骨ページェット病	●
抗 RANKL モノクローナル抗体	デノスマブ	高用量	ランマーク皮下注	・多発性骨髄腫による骨病変及び 固形癌骨転移による骨病変 ・骨巨細胞腫	●●●●
		低用量	ブラリア皮下注	・骨転移 ・関節リウマチに伴う骨びらん の進行抑制	●●

② その他の医薬品

分類	医薬品名
ヒト化抗スクレロチンモノクローナル抗体	ロモズマブ
抗 VEGF 抗体	ペバシズマブ
VEGF 阻害薬	アフリベルセプト
マルチキナーゼ阻害薬	スニチニブリンゴ酸塩 カボザニブリンゴ酸塩
チロシンキナーゼ阻害薬	ニンテダニブエタンサルホン酸塩

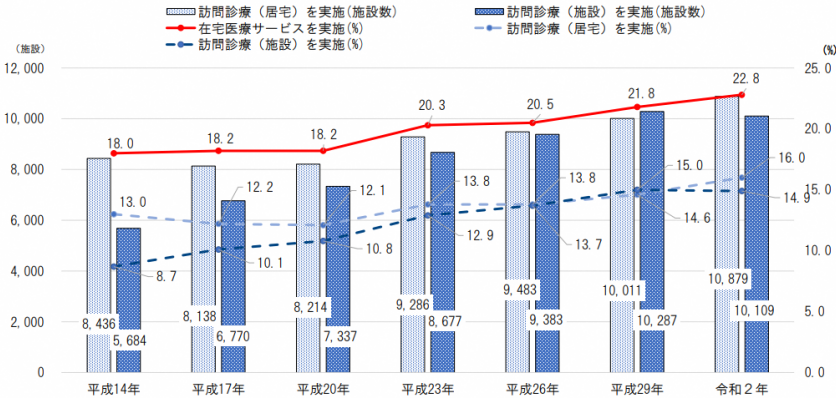
薬剤関連顎骨壊死の病態と管理：顎骨壊死検討委員会ポ
ジションペーパー2023

介護① 訪問診療



在宅歯科医療の提供体制

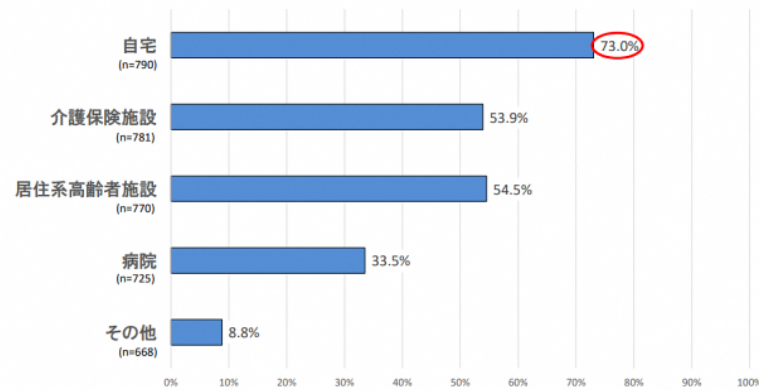
- 在宅医療サービスを実施する歯科診療所の割合は増加しており、令和2年では22.8%である。
- 訪問先別にみると、令和2年では、居宅への訪問診療を実施する歯科診療所の割合は16.0%、施設への訪問診療を実施する歯科診療所の割合は14.9%である。



出典：医療施設調査
 ※各調査年9月に、実施件数が1以上の歯科診療所の割合
 ※平成20年、令和2年の在宅医療サービスを実施している歯科診療所の割合は特別集計結果
 ※令和2年の訪問診療（施設）を実施している歯科診療所の施設数及び割合は、特別集計結果

歯科訪問診療の訪問先

- 歯科訪問診療の訪問先について、患者の自宅への歯科訪問診療を行った歯科医療機関は73.0%、居住系高齢者施設及び介護保険施設への歯科訪問診療の実施はそれぞれ54.5%、53.9%だった。



・調査対象：在宅療養支援歯科診療所2,000施設、それ以外の歯科診療所1,000施設（いずれも無作為抽出）
 ・調査対象月：令和4年7月～9月の3か月間

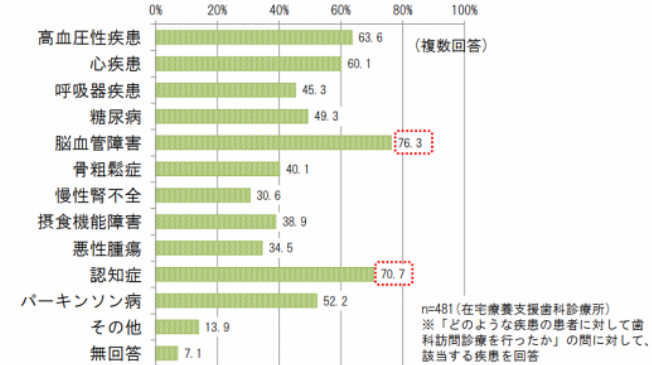
出典：令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（在宅）から集計

歯科訪問診療を実施した患者の状態像①

中医協 総-2
29.11.10

- 歯科訪問診療を実施した患者の全身的な疾患は、脳血管障害が76.3%で最も多く、次いで認知症が70.7%であった。
- また、高血圧性疾患や心疾患は約6割であった。

＜歯科訪問診療を実施した患者の全身的な疾患の状況＞

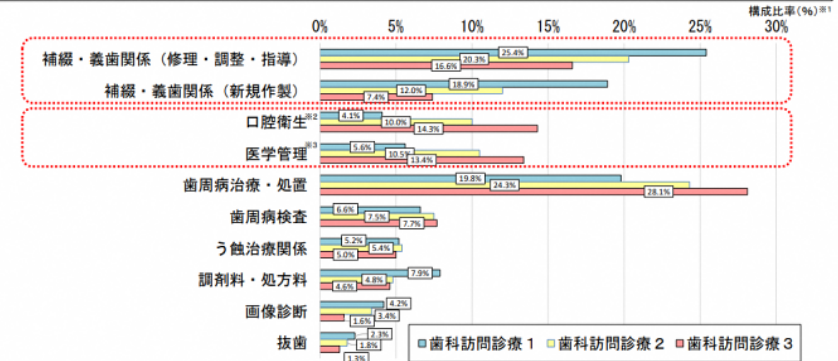


出典：平成28年度医科歯科連携の在り方に関する調査（保険局医療課）

歯科訪問診療実施時に行われる診療行為

中医協 総-4-2
3.11.10

- 歯科訪問診療実施時に行われる診療行為の構成比率を比較すると、「補綴・義歯関係（修理・調整・指導）」や「補綴・義歯関係（新規作製）」について、歯科訪問診療1において多い傾向であった。
- 一方、「口腔衛生」や「医学管理」については、歯科訪問診療3において多い傾向であった。



※1 訪問診療時に行われる診療行為のうち、上位50件に該当する診療行為について、以下の10分類を作成し、構成比率を算出（<10分種>）
 「歯周病治療・処置」「補綴・義歯関係（修理・調整・指導）」「補綴・義歯関係（新規作製）」「口腔衛生」「医学管理」「歯周病検査」「う蝕治療関係」「調剤料・処方料」「画像診断」「拔牙」
 ※2 「口腔衛生」に分類される診療行為：訪問歯科衛生指導料、在宅等療養患者専門の口腔衛生処置、機械的歯面清掃処置
 ※3 「医学管理」に分類される診療行為：歯科疾患在宅療養管理料

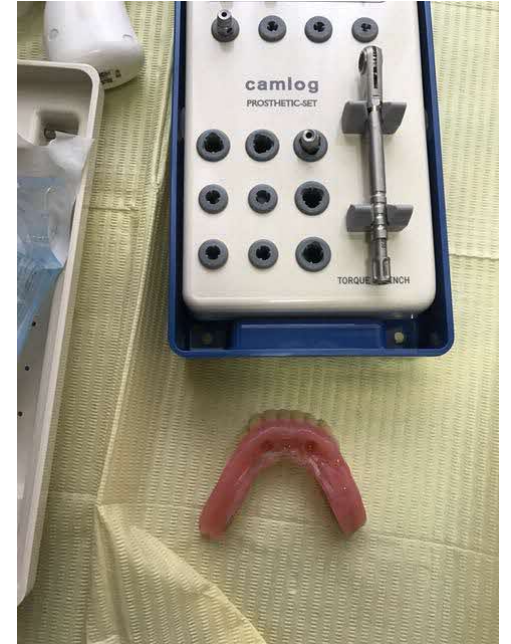
出典：NDBデータ（2018年）

出典：厚生労働省「令和元年度歯科医療提供体制推進等事業」



動画（口腔ケアの手順）

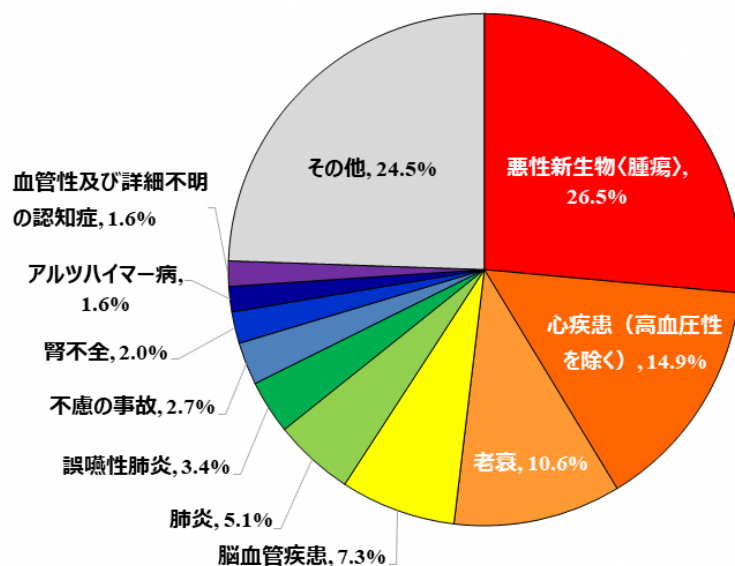
陵北病院 副院長 坂口英夫先生



介護②

摂食嚥下機能療法

令和3年（2021年）主な死因の構成割合



65歳～84歳 4位

85歳～89歳 3位

90歳～99歳 2位

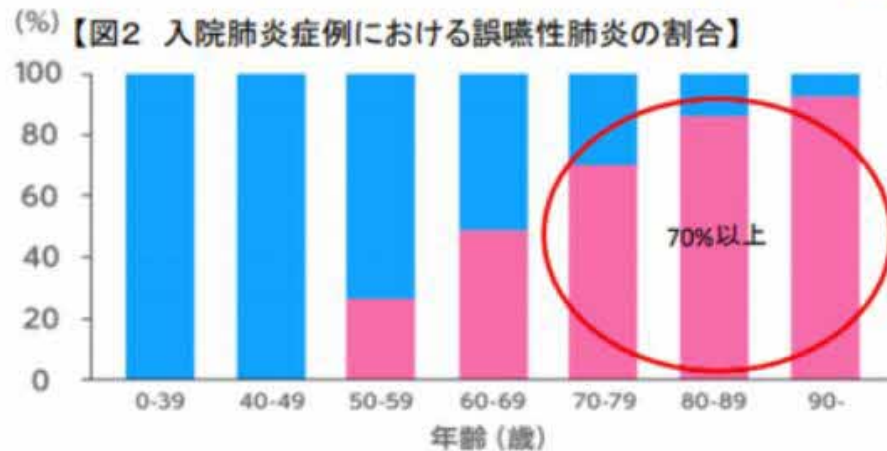
100歳～ 3位

(出典:「令和3年(2021年)人口動態統計(概数)」厚生労働省 2022.6.3 より作図)

【図1 肺炎患者の年齢構成】

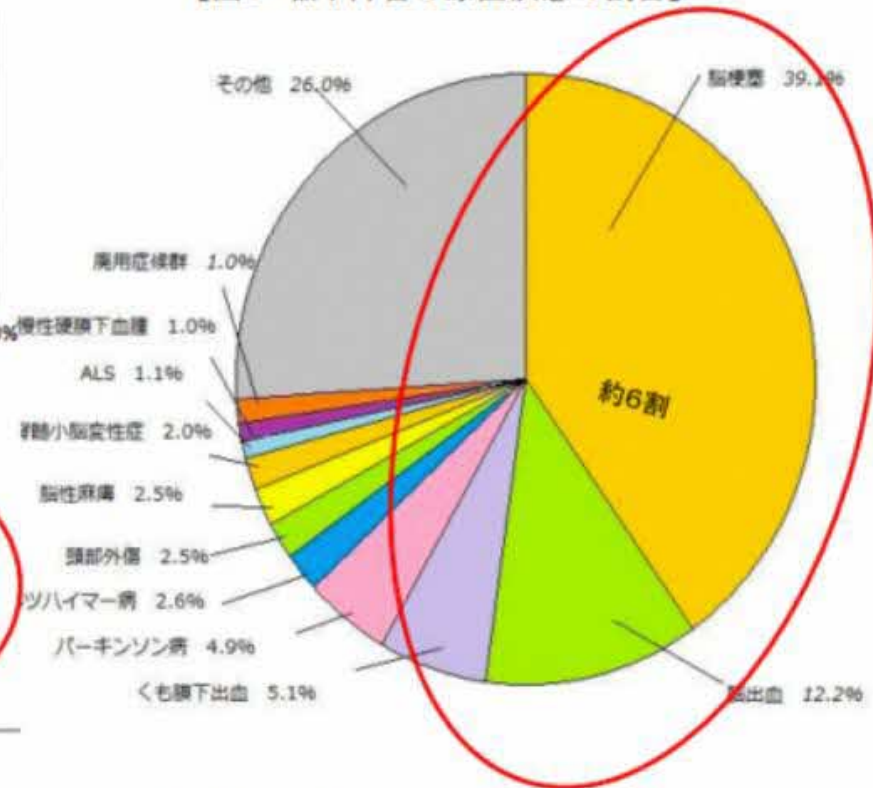


【図2 入院肺炎症例における誤嚥性肺炎の割合】



■ 誤嚥性肺炎 ■ 誤嚥性肺炎以外

【図3 嚥下障害の原因疾患の割合】



出典: 図1患者調査、図2Teramoto,2008、図3Yamawaki,2012

摂食嚥下機能療法の流れ

スクリーニングテスト



嚥下造影、内視鏡検査などの専門的検査



診断



歯科的治療（義歯、舌接触補助床、軟口蓋挙上装置の製作）

摂食嚥下訓練（間接訓練、直接訓練）

食事指導（食形態、姿勢、食器の調整）

外科手術（輪状咽頭筋切除、咽頭挙上術、喉頭蓋管形成術）

スクリーニングテスト

反復唾液嚥下テスト

空嚥下を30秒間繰り返す

改定水飲みテスト

冷水3mlを嚥下させる

フードテスト

スプーン1杯のプリンを摂食する

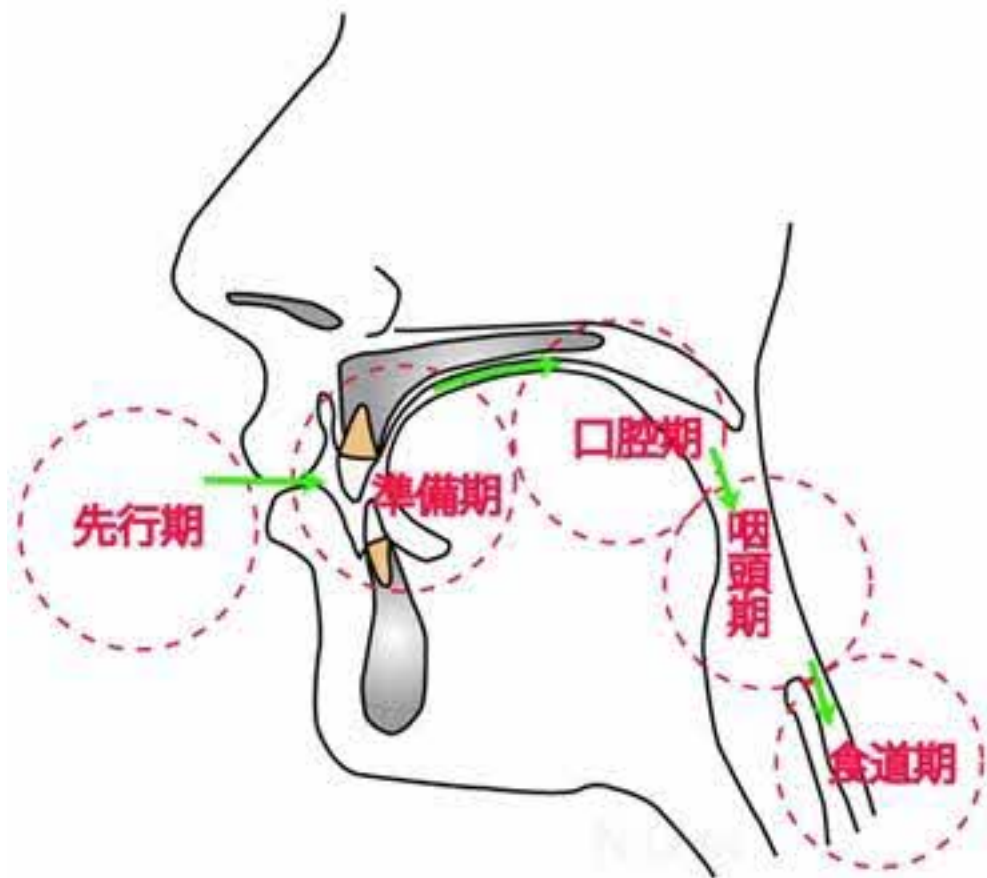
頸部聴診

呼吸音、嚥下音を聞く

咳テスト

クエン酸水をネブライザーで噴霧し吸入する

摂食嚥下のステージ



先行期	食物の認識
準備期	口への取り込み、咀嚼、食塊形成
口腔期	咽頭への送り込み
咽頭期	咽頭通過 → 嚥下反射
食道期	食道通過





介護③ ミールラウンド



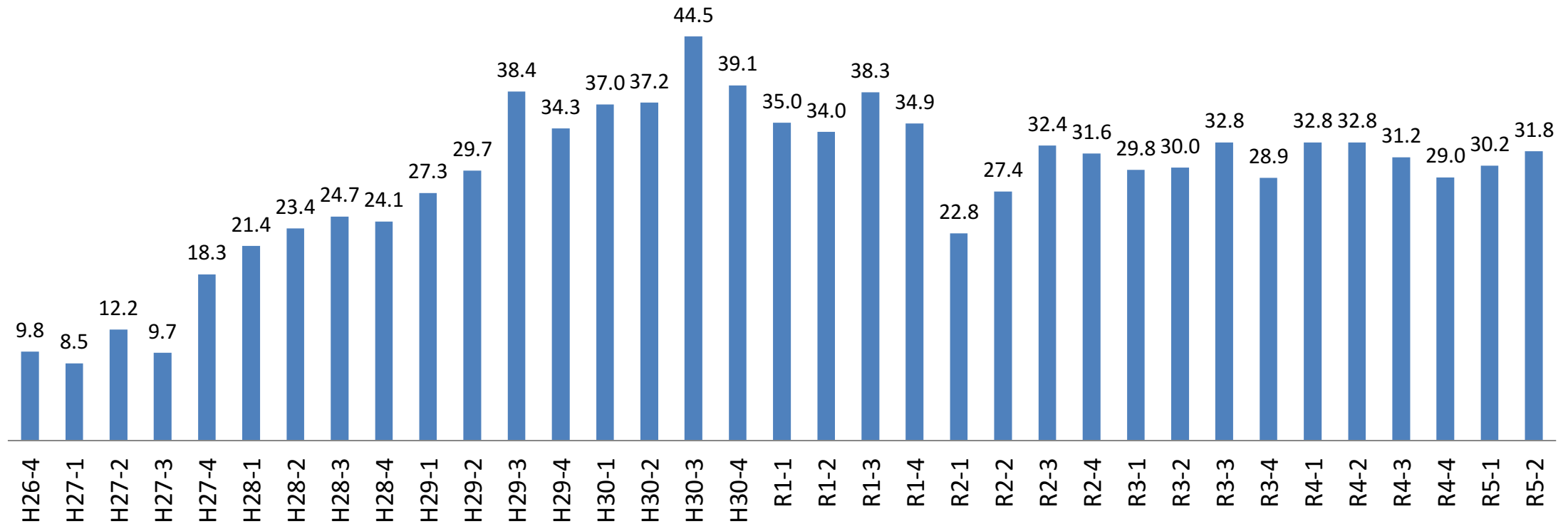
介護④

在宅診療地域連携室

神奈川県歯科医師会（中央連携室）

- 旭区歯科医師会
- 金沢区歯科医師会
- 鎌倉市歯科医師会
- 青葉区歯科医師会
- 大和歯科医師会
- 川崎市歯科医師会
- 川崎市歯科医師会（百合丘）
- 横須賀市歯科医師会
- 相模原市歯科医師会
- 逗葉歯科医師会
- 横浜市歯科医師会
- 藤沢市歯科医師会
- 海老名市歯科医師会
- 茅ヶ崎歯科医師会
- 座間市歯科医師会
- 平塚歯科医師会
- 秦野伊勢原歯科医師会
- 小田原歯科医師会
- 足柄歯科医師会
- 厚木歯科医師会
- 西区歯科医師会
- 港北区歯科医師会
- 鶴見区歯科医師会
- 泉区歯科医師会
- 磯子区歯科医師会

全連携室総計 平均コーディネート実績推移



【神奈川県委託事業】

ひとりで通院できない人でも

自宅・施設で
歯の治療が受けられます

在宅歯科医療地域連携室では
歯科医院に通院できない方の
訪問診療のご相談を受け付けています



お申込みはこちら



電話・FAX でお問い合わせください
月曜～金曜（祝祭日を除く）AM9:00～PM5:00

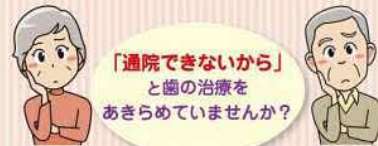
TEL 046-263-0686 FAX 046-263-9600



一般社団法人
大和綾瀬歯科医師会

在宅歯科医療地域連携室

大和市深見西 2-1-25
<http://www.yamatoshikaishikai.or.jp/>



「通院できないから」
と歯の治療を
あきらめていませんか？

このような時は、
お気軽にご相談ください



- ・入れ歯が壊れた、合わない
- ・痛みや腫れがある
- ・食事がうまく摂れない
- ・口内炎がよくできる
- ・口臭が気になる
- ・むせごむことが増えた
- ・口腔ケアを受けたい
- ・在宅で歯科検診を受けたい
- ・治療費が心配



経験豊富な大和綾瀬歯科医師会の歯科医師と
歯科衛生士が皆さまのお口の健康維持をバツ
クアッブ致します。

大和綾瀬歯科医師会・在宅歯科地域連携室
は、大和市・綾瀬市にお住まいの方のための
在宅歯科医療の相談窓口です

長年にわたり地元大和・綾瀬地域
に根差して診療している歯科医師会
会員の先生による訪問診療を受け
られます。



サポート内容

- ・在宅訪問歯科診療
- ・口腔ケアに関するご相談
- ・診療に携わる歯科診療機関のご紹介

在宅歯科医療地域連携室は
公的なサポート機関です。
ご紹介・ご相談は無料です。
安心してご連絡・ご相談ください。



一般社団法人 大和綾瀬歯科医師会
在宅歯科医療地域連携室

大和市深見西 2-1-25
TEL 046-263-0686
FAX 046-263-9600

月曜～金曜（祝祭日を除く）AM9:00～PM5:00
<http://www.yamatoshikaishikai.or.jp/>

【神奈川県委託事業】

自宅・施設で
歯の治療が
受けられます

在宅歯科医療地域連携室では
歯科医院に通院できない方の
訪問診療のご相談を受け付けています



お問い合わせ

YADA
Yamato Ayase Dental Association

一般社団法人 大和綾瀬歯科医師会
在宅歯科医療地域連携室

TEL 046-263-0686
FAX 046-263-9600

介護⑤

要介護高齢者歯科診療

令和6年より開設予定

対象者 在宅療養中の要介護高齢者
訪問診療では対応できない治療領域のフォローアップが必要な在宅療養者
(フレイルによる体力的問題、糖尿病等の全身的なハイリスク患者、抗凝固剤等の投薬状況、現場の衛生的環境etc)

目的 在宅訪問診療の後方支援

場所 大和歯科医師会休日診療所

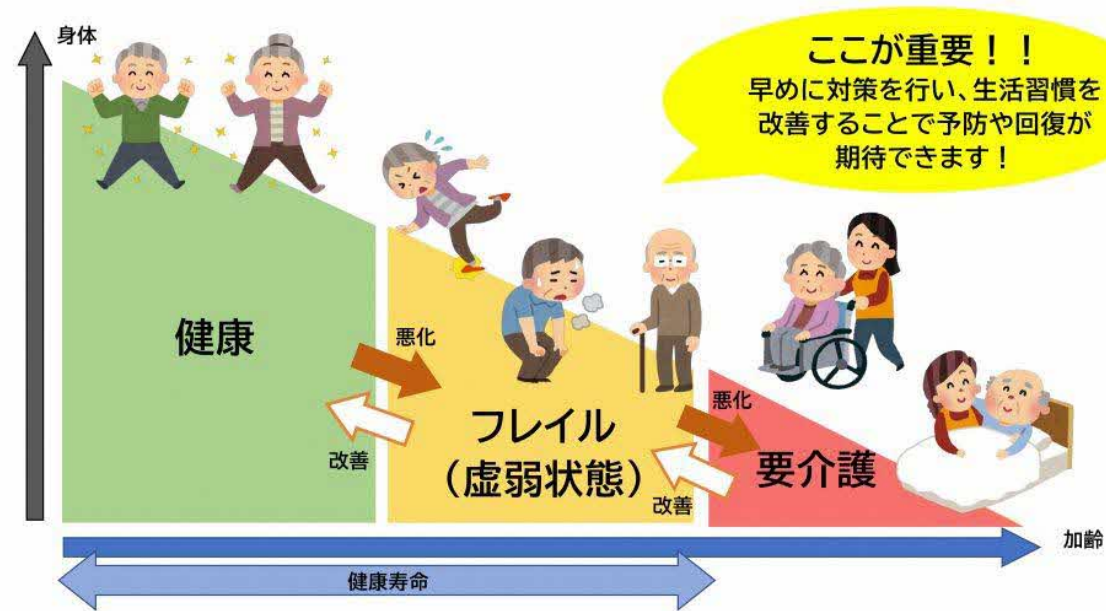
方法 移動手段のない方はタクシー又は介護タクシーにて移送

スタッフ 会員協力医 高齢者歯科専門医 麻酔専門医 歯科衛生士

診療日時 隔週 月2回 9時から13時



超高齢化社会における歯科の役割



「最期まで口から食べる」ことをサポートする